

外大東北復興支援隊

TUFS for Tohoku



コミュニティカフェに飾る各国語での「がんばれ」

【About us】

“外大東北復興支援隊”は、東日本大震災の被害を目の当たりにし、「東北復興のために自分達に何かできることはないのだろうか。」という想いを抱えていた東北出身の学生4人によって、4月21日に設立されました。東北が復興するのに何年かかるかわからない今、求められているのは長期的な支援活動です。NGOと協力して、現地から、そして大学から、私たちの活動内容を東京外国語大学学生ならではの 방법으로発信していきます。

私たちは、東北の苦しい状況下にある人たちに寄り添い、復興の手助けとなる活動を行うことで、被災された方々を支えると共に、学生にとって学びとなる活動を行うことを目的とし、活動を始めています。

設立メンバー： 代表 吉村健吾（外国語学部ポルトガル語専攻3年）
副代表 太田華江（大学院国際協力専攻M1）

現在、大学院生・学部生あわせて約40名の外大生が、活動に参加しています。宮城県石巻市での活動については、NPO法人JEN（緊急救援のための国際NPO）や石巻専修大学の学生ボランティア団体等、他団体のご協力を得て、進めています。また、当支援隊の顧問を務める船田クラーセン先生が代表を務める福島乳幼児妊産婦ニーズ対応プロジェクト <http://fukushimanneeds.blog50.fc2.com> のサポートも行っています。

【活動報告】

①福島イベント（2011年6月20日@東京外国語大学）

東京にいる私たちは、福島原発の問題を、「福島の問題」にしてしまっていないだろうか。私たちはこの問題に向き合うために、原発から20km圏内の警戒区域にある福島県浪江町出身のシンガーソングライター門馬よし彦さんと七宮史浩さんをお招きし、トーク&ライブイベントを開催しました。このイベントは、同じく浪江町出身の小松と郡山市出身の田邊が担当させていただきました。お二人とも大変フレンドリーな方で、福島の人々がおかれている状況や、福島県民としての本音を分かりやすく語ってくださいました。時にはジョークも交えながら、明るく前向きに語るお二人のお話に、集まった観客だけでなく復興支援隊のメンバーも聞き入っていました。被災した方々と接する中で得られた、たくさんの思いが詰めこまれた歌詞と歌声は、本当に心に響くものでした。東京にいる私たちは今何をすべきなのか、何ができるのか、改めて考える機会になったと思います。（外国語学部アラビア語専攻2年 田邊瑞穂）



②コミュニティカフェ（石巻市）

NPO法人JENが、炊き出し・物資保管・情報交換や団らんの場として石巻市各地で運営する「コミュニティカフェ」にて、私たちは、炊き出しの手伝いや食後のお茶出しをしながら地域の方々とお話し、子供たちの遊び相手になるといった支援をしてきました。今後は、炊き出しのニーズが（食中毒の危険性も伴い）減ってきていること、自宅の片付けで手いっぱいの方が多いいことを踏まえ、お茶の差し入れ、ごみ撤去・掃除・草むしり等のお手伝いを並行して行っていく予定です。

また、普段から外大の活動へのご協力を頂いております WataChildren の渡辺氏 (<http://watachildren.blogspot.com/>) は、石巻ボランティアのキッズ担当として、移動図書館他さまざまな活動を現地で展開しており、私たちの団体からも約60冊の本の寄贈を行うことができました。（外国語学部ドイツ語専攻2年 和田梨紗子）

③美浦旅館復旧作業

私は本復興支援隊の一員として、7月2日と3日に宮城県石巻市に向かいました。現在、石巻市の美浦旅館ではご主人が一人で大工仕事を行い、時折私たちのようなボランティアが手伝っている状態の様でした。旅館の一階部分は泥もほとんど取り除かれていたので、私たちは床板を鋸で切って打ち付ける作業を行いました。いつになったら美浦旅館は再出発できるのだろう、人は、そして街は、またそこに戻ってくるのだろうか。まだ来ていないぼんやりとした不安の前では、ほとんど夏のような暑さと、そこかしこに飛び回るハエも、気になりませんでした。復興までの道のりはまだまだ、続きます。(大学院国際協力専攻 M1 山口良明) ※美浦旅館ブログに私たちが載りました。

美浦旅館 日々好日 <http://yoidore082.blog32.fc2.com/>

④宮城県女川町での活動(6月)

弊団体のメンバーが、地元の方のご厚意で女川町を案内して頂きました。震災で最も被害の大きかった女川町は現在もほとんど手が付けられていない状態です。辺り一帯は瓦礫に覆われ、魚の腐ったような強い悪臭が漂い、地元の方も「以前はここに旅館がたくさん立ち並んでいたのに…」と言葉を失ってしまう程の光景でした。被災地の中でも復興が進んでいるのはほんの一部であり、今も女川町のような悲惨な状態にある地域が残っていて、私たちの助けを必要としていることを実感しました。(外国語学部ベトナム語専攻3年小早川梨央)

【夏休みの活動計画】

これまでは大学の授業の関係上、週末の2日間しか現地に行くことができなかつたのですが、夏休みはお盆を除いた1ヶ月間、交代で支援をして行く予定です。以下、主な活動予定です。

① **コミュニティカフェ**

今までは平日しかあけられなかつたカフェを、平日にもオープンします。石巻市内はとても暑いので、かき氷など涼しいメニュー及びイベントを現在考案中です。また、周辺地域の泥だしやもの運びもこれまで通り行っていきます。

② **移動図書館**

これまでは本の寄贈にとどまってきましたが、実際に移動図書館に乗り、避難所でくらす皆さんに快適に読書を楽しんでもらえるようお手伝いしていきます。

③ **学習支援**

夏休みといえば大量の宿題です。子どもたちへの宿題補助をコミュニティカフェにて行って行く予定です。また、勉強の楽しさを知ってもらえるようなイベントを、小学生を対象に石巻専修大学の学生と協力して行います。

津波の被害を受け、インフラ整備が進行中の石巻市は、例年より大変な夏を迎えることになるでしょう。そんな石巻市の夏に少しでも涼しい風を吹き込めるよう、部員一同尽力して参ります。

【協力団体】

特定非営利活動法人ジェン（JEN） <http://www.jen-npo.org/>

WataChildren <http://watachildren.blogspot.com/>

福島乳幼児妊産婦ニーズ対応プロジェクト <http://fukushimanneeds.blog50.fc2.com>

【ご協力のお願ひ】

当団体では継続的・長期的な活動を目指しているため、交通費など多くの資金を学生だけで負担するのは厳しい状況にあり、一〇一〇円からの寄付金を募っており、皆さまのご協力のもとボランティア活動を行っております。皆さま方に私どもの活動経費のために寄付金のご協力をお願いするのは、大変厚かましいことと存じておりますが、ご寄付をいただくと大変ありがたいです。（一〇〇〇円以下のご寄付についても、もちろん受け付けております。）

ご協力頂ける方は、当団体連絡先：tufs.tohoku2011@gmail.com までご連絡ください。ご都合のよろしい日時・場所をご指定くだされば、代表の吉村か会計の鈴木、または他のメンバーがご指定の日時・場所にご寄付をいただきに参ります。

また、当団体の振替口座へ寄付金を振り込んでいただくこともできます。振替口座への振り込みをご希望される方は、振替払込申込書をお届けに伺いますので、上記の連絡先までご都合のよろしい日時・場所をご連絡ください。

振り込み先：振替口座記号番号 00150-8-566431 / 加入者名 外大東北復興支援隊
ATM・銀行からお振り込みされる方は、ゆうちょ銀行 店名：019 / 預金種目：当座 /
口座番号：0566431 とご記入ください。

頂いたご寄付については、大切に管理、使用させていただきます。また本ニュースレタ

ーやメールにて、定期的に活動及び会計報告をさせていただきます。何かご意見やご質問がございましたら、上記の連絡先までご連絡ください。

設立したばかりの団体のため、いたらない点多々ありますが、ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。お忙しい中、最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

☆活動メンバー募集中☆

私たち外大東北復興支援隊は、現在活動メンバーを募集しています。石巻市でのボランティア活動の他にも福島トーク&ライブイベントのようなイベントの準備等、被災地へ直接赴かなくても参加できる活動もたくさんあります。

夏休み期間中は定期ミーティングを開催致しませんので、外大東北復興支援隊に参加したい方、興味がある方は、直接団体までご連絡ください。

質問のある方も、こちら：tufs.tohoku2011@gmail.com までご連絡ください(^O^)

外大東北復興支援隊ニュースレター 第2号 7月20日発行

編集者：吉村健吾、鈴木和、小早川梨央、山口良明、和田梨紗子、田邊瑞穂、曾我太一

発行所：外大東北復興支援隊（東京都府中市朝日町3-1-1 船田クラークセン研究室）

E-mail：tufs.tohoku2011@gmail.com

ホームページ：<http://www.tufs.ac.jp/st/club/tufsfortohoku/index.html>